



関西支部報

http://jac.or.jp/kns/

関西支部設立90周年記念事業 海外登山 韓国の沢登り

茂木完治

朝鮮半島には仁寿峰(インスボン)、智異山(チリサン)、雪岳山(ソラクサン)といった日本でも知られた山がありますが、日本から韓国へ山登りにでかける人は少なく、魅力を知る人が少ないのが残念です。しかし、実は大変魅力に富んだ山々なのです。韓国の山の魅力は渓谷にあります。花崗岩のゆったりとして大きく長い滑滝と、それを取り囲む岩峰はまさに山水画の世界です。夏ならば鮮やかな緑が眼に沁みます。



ソウルの北漢山(ブッカサン) 写真提供: 山崎詮



新年会のご案内

関西支部恒例の新年会を下記の通り開催いたします。

新入会員・会友の歓迎会も兼ねます。

日時: 2023年1月28日(土) 18時30分～

場所: 大阪梅田「大東洋」電話06-6312-7525

会費: 6,000円

参加申込は同封のハガキに63円切手を貼って1月13日迄にご投函ください。

連絡先: 豊田哲也 電話: 090-6433-3108

編集後記	18
自然保護行事案内(1～3月)	16
山行委員会行事案内(1月～3月)	14
スケッチ同好会	14
会務報告	14
個人山行	13
4 自然保護委員会活動報告	12
3 ヒマラヤ登山塾	10
2 山岳古道調査	7
1 支部山行報告	3
支部山行報告	3
久保和恵	2
第30回記念藤木祭報告	2
海外登山 韓国の沢登り	1
茂木完治	1
関西支部設立90周年記念事業	
目次	

私は長年、韓国の谷に通い、その中で多くの日本の谷を超える規模の滑滝の谷に出逢いました。みなさんもぜひ一度その魅力を味わいに行きませんか。

【韓国の魅力を知る旅】 東海岸の三陟市の五十川にある大房谷(テバンゴル)で長大な滑滝の沢登りを楽しんでから登山道を頭陀山(ツタサン)1353mに登ります。往復約8時間です。沢登りの後は近くにある溪谷美で名高い武陵溪谷(ムルンケーゴク)の探勝、ソウルのシンボル、国立公園の北漢山(プッカサン)837m登山で韓国の山の魅力を味わいましょう。

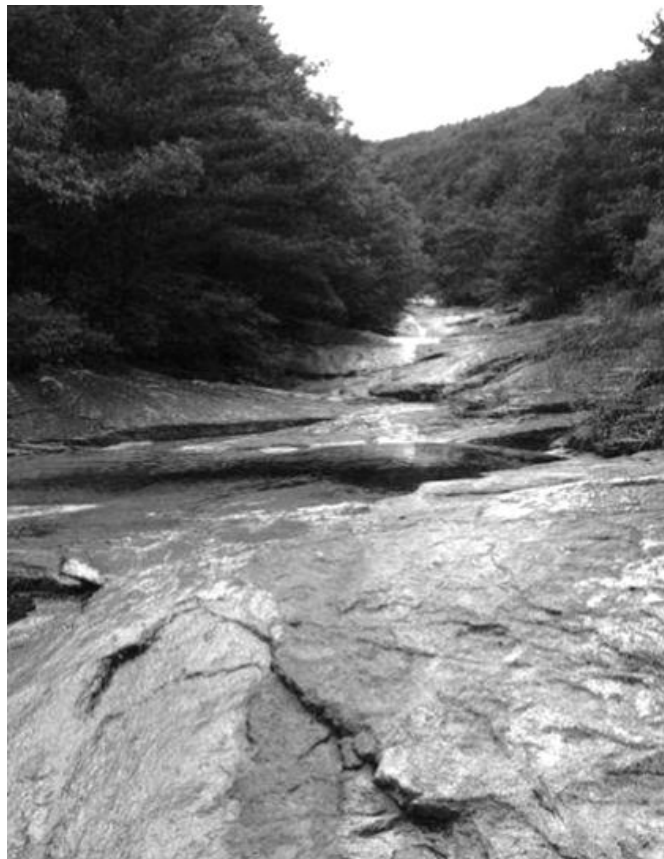
【期 間】 2023年8月11日(金)～15日(火)

【コース】 1日目：大阪－ソウル－東海市(泊) 2日目：東海市－古川里－大房谷沢登り－頭陀山－天恩寺－(車チャーター)－東海市(泊) 3日目：東海市－(車チャーター)－武陵溪谷－東海市－ソウル(泊) 4日目：北漢山往復－ソウル(泊) 5日目：ソウル－大阪(解散)

【対象者】 ロックガーデン地獄谷レベルの沢登り経験者で、4～7月に1回行う沢登り訓練に参加のこと

【予 算】 予算：20万円(確定ではない)

申込み：3月31日(金)迄(担当：茂木完治)



滑の素晴らしい大房谷(テバンゴル) 写真提供：山崎詮

第30回記念藤木祭報告

久保和恵

令和4年9月25日(日)午後1時から芦屋・高座の滝前広場で藤木祭が開催された。古賀英年兵庫県山岳連盟会長の開会の言葉で式典の幕が開け、主催者を代表して茂木完治日本山岳会関西支部長が、コロナ禍で中止を余儀なくされた2年間、やっと第30回に辿り着け、開催に至るまでの想いと関係者への感謝を述べられた。続いて伊藤舞芦屋市長のご祝辞、兵庫山岳連盟顧問森川列氏が藤木九三翁との思い出をエピソードなど交えながら話された。今回は依然コロナ禍であることから、恒例の芦屋市ユースコーラスの歌声は聴けなかったが、代わりは特別企画、真田彩さんによるヴァイオリンの生演奏であった。静まり返った広場にヴァイオリンの美しい音色が響き渡り、参加者、通行中の登山者もしばし足を止めその音色に魅了されていた。藤木九三翁もさぞご満足されたのではないかと…。次にご親族を代表して藤木桂子様が九三翁と昨年9月に逝去されたご主人藤木高嶺氏の親子の思い出を感慨深げに話された。閉会の言葉で小畑和人大阪府山岳連盟会長は、今回の第30回を目途に藤木祭をどのように、どのような形で引き継いでいくか、主催者、参加者の方々のご意見を伺いながら、残していかなくてはならない、何か良い形で残したい、これからは大きな課

題であると締めくくられた。

私は20年近く藤木祭に参加し、携わってきたが、今年の藤木祭は歴代関わってこられた方々の姿はほとんどなく、また当初より協力いただいた大谷茶屋さんの姿もなく、寂しさは禁じえなかった。小畑会長の話を聞き転換期が来たのだと強く感じました。「登山の発展と安全を祈る」「仲間が親しく集う場」の趣旨のもと開催されて来た藤木祭、時代に即した形で引き継がれることを望む。



真田彩氏のバイオリン演奏 写真提供：豊田哲也

支部山行報告

1. 支部山行報告

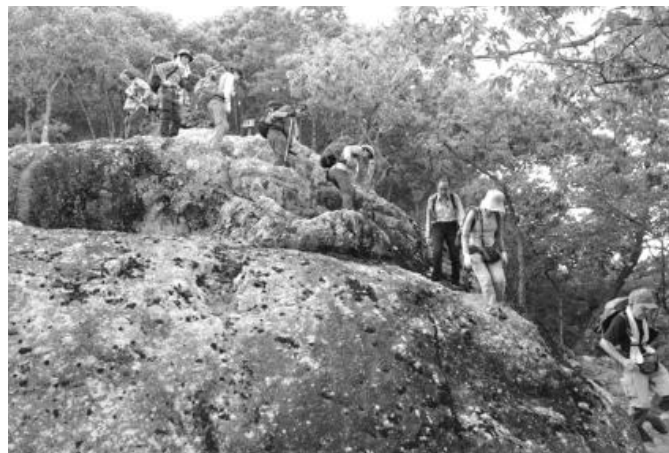
支部山行22-23 第10回関西のアルプス踏査
「上郡アルプス」

前田正彰

7月17日(日) 晴時々曇

戻り梅雨で天候が不安定な日が続いたので今日の天気も心配されたが明けてみると晴れ模様だったので安心した。予定通りに参加者12人が上郡駅に集合した。町中の公園で柔軟体操をして出発。すぐに山道に入った。最初の羽山から歩を進めていくと小美女平という所に着いた。名前の由来を知りたいものだ。この頃から気温が上がってきて汗が噴き出してくる。手元の簡易温度計を見ると31℃だった。それでも木陰やたまに吹いてくれる涼風がありがたかった。大観峰、大鳥山と過ぎたところで昼食休憩となった。今日のコースは殆どが尾根筋で播州地方独特の地形である低いものの厳しい起伏の連続だ。時々モンキアゲハが小鳥並みの羽音を立てて顔の横を飛び交う。ウグイスも行く先々で鳴いてくれて疲れた体に癒しをくれるように感じる。岩木山迄の長い稜線の途中に「西播磨の山城へGO」と書いた幟が2本立てられていたのが何か場違いで面白かった。今日の最高峰岩木山に着いた。大鳥山からここまでは全くのピストンだ。この道中ヒゲラシの声が盛んに聞こえてきたのには驚かされた。

大鳥山からは東へ、厳しい下りとなった。生駒山は駒山城址で空堀や土塁の跡があり往時をしのばせてくれた。また、そこから下る岩肌に馬の蹄跡と言われる丸い穴が何か所も残っているのが見られた。麓の「延命地藏」には17時45分に着いた。上郡駅では予定通り18時09分姫路



写真提供：重廣恒夫

行きの列車に乗れたが中には望みのドリンクが買えないまま飛び乗った人もあった。厳しいが変化に富んだ味わい深い山行であった。

【コースタイム】

JR上郡駅9:50～羽山10:50～大鳥山11:55～鍛冶山12:45～鳳凰山13:55～岩木山14:20～大鳥山16:20～生駒山17:05～JR上郡駅18:05

【参加者】

重廣恒夫、黒田記代、久保和恵、新本政子、野村康、山内幸子、深澤優子、坂本明子、上森文子、中村三佳、永井和、前田正彰
計12名

支部山行22-25 沢登り例会
大峰「前鬼川」

井川浩彰

7月24日(日) 晴

平均年齢の若さに少し気後れしながらも前鬼川・沢登り例会に参加させていただいた。戻り梅雨の最中の晴天だけに先行者も多く、ほぼ最後の駐車スペースに車を停め、すぐ横の黒谷から入渓。沢を少し下降し、本谷出会から前鬼川の遡行開始。腰までの水流の中を歩いたり、大きな岩をよじ登ったり、引っ張り上げたり、沢登り特有のスタイルで登っていく。最近の水量が少なかつたためか岩がぬめってすごく滑りやすい。大峰の水が冷たいのは湧き水が多いためと聞いた。

2段10mの滝の釜付近で写真休憩。釜の美しさは格別で前鬼ブルーとのキャッチコピーの所以である。昨年死亡事故のあった滝の落ち口付近のトラバースを避けるため、高巻きからの下降点を少し上流にとり懸垂下降で下りる。美しいナメを通過。

巨岩が行く手を阻む。右岸の本来の高巻きポイントと思しき場所は、大勢が陣取り手間取っている。私たちのパーティは時間短縮のため右岸トラバース、左岸の岩登り、巨岩の弱点突破の三様の方法を試したが、3番目が正解のようで、私はショルダーを借りて巨岩を下り、次の岩もロープで引き上げてもらって突破した。

垢離取場に到着。孔雀又出合までの予定を切り上げ、ここで沢登り終了となった。小滝を少し登った後は、暑さと闘いながら不明瞭な踏み跡をたどって歩き、奥駈道と合流し、小仲坊、林道経由で駐車場着。前鬼川は、昔



前鬼川 写真提供: 中久保忠伸

と変わらず本当に美しい沢でした。

【コースタイム】

前鬼林道ゲート前9:30～本流出合10:04～大滝11:00～滑滝11:45～箱状滝13:00～垢離取場13:30～前鬼の里14:40～ゲート前15:10

【参加者】

中久保忠伸、豊田哲也、柴田美生子、坂本明子、小黒節郎、山田昌孝、立野里織、今宿瑛三郎、後藤健治、鷺本晴香、井川浩彰 計11名

支部山行22-27 月例会(7月)

「Kobe Walking Society 背山ルートを巡る」

横山規江

7月30日(土) 晴

集合場所の諏訪山児童公園を出発。粋な計らいで大正12年開店の燈籠茶屋で炭火焼きトーストとコーヒーを頂いた。確かに名物と言われるだけのことはある。

そよ風が絶えず当たりながら、久しぶりの快適な山行を楽しむ。毎日登山発祥の地、善助茶屋跡で休憩。近くに神戸徒歩会(Kobe Walking Society、明治43年創立登山会)のCedar Cottage跡があるのを初めて知った。会員



Cedar Cottage 跡にて 写真提供: 前田正彰

の休憩に使われ、「INAKA」や「山岳」が書架を飾っていたそうだ。

再度山は日差しが強いため、昼食を六甲縦走路に入った所で取り、鍋蓋山へ。最高の展望日和で神戸空港から泉州沖まで、視力が急に良くなったと錯覚する程、鮮明に見渡せた。ここまではペースがゆっくりのお蔭で比較的楽であったが、午後に入り気温も上昇し日陰も少なくなり、足取りが重くなってきた。鍋蓋山から菊水山へは急な岩場の下りで四苦八苦し。天王吊橋に着いた時は取りあえずホッとして水分補給。

菊水山登りで暑さと久しぶりのメンバーが疲れたが、永井さんの凍らせた栄養ドリンクが効果抜群ですぐに回復。菊水山は今後のお楽しみに残しておくことに全員賛同し、頂上手前から沢沿いの日陰の道から鈴蘭台駅に下山した。

【コースタイム】

諏訪山公園9:27～燈籠茶屋10:24～猩々池10:56～善助茶屋跡11:25～再度山12:09～鍋蓋山13:17～菊水山手前15:27～鈴蘭台駅16:35

【参加者】

野村康、前田正彰、久保和恵、永井和、深澤優子、池尻英明、横山規江 計7名

支部山行22-29 第11回 関西のアルプス路査

「多紀アルプス」

薦田佳一

8月14日(日) 曇時々雨

JR福知山線篠山口駅に集合しタクシー2台に分乗し大タワ手前の登山口(車道出合)に30分程度で着いた。標高は450m辺りである。

一息入れて登山開始。山道は東に向けて畑山分岐までの緩やかな登りを、雨雲の下の薄暗い樹林を進んだ。鳥の鳴き声を聞きながら薄暗い樹林の畑山分岐点に着いた。分岐点から北に進み、樹林帯を抜けると小さな岩場が続く登りになった。鎖場の岩場を抜けると小金ヶ嶽山頂(725m)に着いた。岩場では赤い色の岩石が続き、山頂からは遠くの山並みが青く連なり癒される。

小休止して、大タワに向けて下りの岩稜帯も鎖場が続いた。途中北側に開けた見晴らし台からの展望が良い。しばらく山道を下り樹林帯は杉林になりアスレチック場が現れ、大タワに着いた。のどかな広場に霊峰の石碑と東屋がありそこで昼食。

食後、霊峰の盟主・御嶽(三岳)に向けて進む。緩やか



写真提供：重廣恒夫

な登りのモミの木の樹林帯、ツクツクボウシ、ミンミンゼミの鳴き声を聴きながら登りが続く。遠くでゴロゴロ雷が響く。しばらく登ると開けた稜線に出たところに石室があり、中には役小角の石仏が祀られていた。さらに山道50mほど進むと多紀アルプスの盟主・御嶽に着いた。山頂には大きなアンテナが設置されていた。

休憩後、西ヶ嶽に向けて出発。下りの山道で雷が響き、大粒の雨がやってきた。急いで合羽を着たが30分程で上がり陽が差してきた。山道は上り下りが続き足取りは重くなってきたところで、やっと多紀アルプス最後の霊峰・西ヶ嶽に着いた。山頂からは東に霊峰・御嶽のどっしりとした山容が間近に望まれた。

西ヶ嶽から栗柄口村への山道は延々と下りになる。かなり下の樹林帯の谷道はとにかく蒸し暑い。ほぼ下りきった辺りで茶畑があり、栗柄口村に到着。ゆっくり休憩してタクシーを呼び、JR篠山口駅へ向かった。

【コースタイム】

大タワ峠手前登山口10:00～畑山分岐10:30～小金ヶ嶽11:20～大タワ12:40～御嶽14:00～西ヶ嶽15:40～栗柄口バス停近く17:10

【参加者】

重廣恒夫、前田正彰、永井 和、深澤優子、薦田佳一
計5名

支部山行22-33 月例会(9月)
「石澄の滝～ようらく台・天上ヶ岳～箕面」
山内幸子

9月10日(土) 晴

健脚向き・登山教室・御津アルプス山行前日のために参加者が少なく、暑い時でもあり、明日の御津アルプスに備えてショートコースに変更して二人でのんびり歩くことにした。鉢伏山はパスし、代わりに池田にあるあま

り知られていない石澄の滝から登ることにする。

東畑から石澄の滝へ向かう。バス停から住宅地を少し歩き山に取りつくと静かな石澄川に沿っての細いがよく踏まれた道を歩く。20分余歩くと岩場になり石澄の滝に出る。今は踏み跡があり、流れをロープで渡り滝壺まで行くことができる。今日は水量が多くて見事であり誰にも会わないので静かに楽しめた。

六個山の登り始めは少し急だが頂上まで楽に歩ける。六個山で休憩した後、ようやく台まで1時間余り歩いて東屋でゆっくり昼食タイム。ソーメンやおにぎり等でも風のある木陰での食事はご馳走である。食後のお菓子付きのお茶タイムまでたっぷり1時間半の贅沢な時間を過ごす。

午後、堂屋敷の三角点を眺めてから役行者昇天地と言われる天上ヶ岳で役行者像を拝み、箕面自然探求路を辿って百年橋から箕面大滝を經由して箕面駅で山行を終える。猛暑の中、あまり暑さを感じず二つの滝を眺めることができ普段できないのんびりとした山行であった。

【コースタイム】

東畑バス停8:50
～石澄の滝9:30
～六個山10:20
～ようらく台園地13:00～天上ヶ岳13:50～箕面自然研究路14:11～百年橋14:29～箕面大滝14:55～箕面駅15:40



石澄の滝(上) 天上ヶ岳(下) 写真撮影：山内幸子

【参加者】

久保和恵、山内幸子

計2名

**支部山行22-34 沢登り例会
台高山系「月出川支流ワサビ谷」**

中久保忠伸

9月11日(日) 晴

ワサビ谷は、三峰山八丁平を源流とする谷で初級とはいえ、多くの滝登りがあり知る人ぞ知る谷である。

ワサビ谷に架かる橋の左側から入渓、すぐに大きな堰堤があり右側を巻き上がる。小滝がでてくるが、順調に進む。今日は沢登りに慣れたメンバーばかり。入会されたばかり



ワサビ谷入渓 写真提供: 豊田哲也

りの寺田さんは沢登りのエキスパート、岐阜支部の山田さんは関西支部の会友で沢登りに限らず四季の山をエネルギーギッシュに登りまくっている山屋である。立野さん、豊田さんは何回も一緒に沢登りしている気心のしれた仲間である。

久しぶりに遡行図を書いていると寺田、山田さんがどんどん先へ進んで置いていかれそうになる。やがてこの谷最大の15m滝である。山田さんは登りたそうにしているが水量が多く水勢も強そうなので左岸を巻き上がる。上にも小さな滝がかかり、続いて4m、5mの滝、5段～10段になってかかる滝がどんどん出てくるが、全て直登できてフリクションも良くきいて滑らない。やがて左右から支流が入りだすと滝もなく谷は穏やかになり、美しい緑色した自然林の廻廊を過ぎて草原に飛び出した。八丁平である、まさに地図どおりである。

八丁平で昼食を済ませて三峰山に登り、新道峠を経由して下山する。

【コースタイム】

入渓8:54～八丁平11:20～三峰山12:00～新道峠12:44

【参加者】

立野里織、寺田昭弘、豊田哲也、山田昌孝、中久保忠伸
計5名
**支部山行22-35 第12回関西のアルプス踏査
「御津アルプス」**

永井 和

9月11日(日) 晴

御津アルプスという山系があるのを知らなかった。掛保川河口の西、「室津千軒」で有名な室津港の背後、播磨灘に面した標高100mから250mのピークを連ねた山塊をさす。このプロジェクトに参加しなければ、おそらく足を向けることもなかっただろう。

網干駅からタクシーで登山口の石見神社に行き、照葉樹林の尾根道を登っていくと、左右に石積みが残っているのに気づく。170基の石室跡からなる権現山古墳群である。めざす権現山頂上部にはより規模の大きな前方後方墳があり、4世紀初めと推定される51号墳は、「卑弥呼の鏡」で有名な三角縁神獣鏡が出土したことで知られる。

碓岩北山で昼食休憩をとり、急な斜面を下る。暑さのせいか、足の踏ん張りがきかず、3、4度尻もちをついたあと、急に嘔吐感が襲ってきて斜面の途中でうずくまってしまった。10分ほどそのままの状態だったが、吐き気がおさまったので南の科尔まで下った。私に熱中症の症状が出たので、リーダーは山行中止の判断をし、全員が科尔から西へ岩見坂を通る県道に下ることになった。しかし、この道はなかなかの難路で道を蔽うシダの下をかいくぐり、四つん這いになって進まなければならなかった。

せっかくの御津アルプスの縦走が自分のせいで中断となったのは残念である。再度チャレンジしてみたい。ただし、寒い時期に。



写真提供: 重廣恒夫

【コースタイム】

石見神社9:43～権現山10:41～北山奥山11:34～碓岩北山12:44～碓岩北山南のCOL13:50～揖保川グラウンド(岩見坂入口)14:53

【参加者】

重廣恒夫、新本政子、岩崎しのぶ、小黑節郎、久保和恵、中山勝也、野村康、深澤優子、山内幸子、永井和

計10名



やっと五條林道に下り立つ 写真提供：青木 昭

**支部山行22-41 ゆるやか山行[里山探訪2]
「大住谷～東條山～池の川谷」**

野村 康

9月29日(木) 曇

コロナが落ち着き、3ヶ月ぶりにゆるやか山行が実施された。河内長野駅からのバスの乗客は皆顔なじみのようで、隣に座られた方は気軽に話しかけてこられた。金剛山に毎年120日登られ、その証の転法輪寺の登拝寶印帖を見せて頂いた。

小深で下車したのは我々だけで、他の乗客は不思議そうに我々を見送ってくれた。林道大住谷線は、杉や檜の樹林帯の谷で、ミズヒキ、ハナタデ、アキチヨウジ、ミカエリソウ、マツカゼソウ、サラシナショウマ等の可憐な小さな花々が見頃だった。林道から分かれ稜線まで直登し東條山までの標高差250mの登りを、皆確実な足取りで登った。東條山での昼食の際、坂口様から特大の丹波栗(渋皮煮)の差し入れを頂き、登りの疲れを癒やすことができた。花尾山に向かい、ピーク手前から五条林道を下った。

金剛山ロープウェイ前バス停からバスに乗り、河内長野駅に無事下山した。

【コースタイム】

小深バス停10:22～林道大住谷線10:33～林道離脱11:49～稜線到達12:17～東條山13:30～金剛山ロープウェイ前バス停14:27

【参加者】

久保和恵、山内幸子、黒田守彦、内田嘉弘、内田昌子、橋本圭之輔、坂口和子、松村文子、前田正彰、岩崎しのぶ、福山茂光、辻和雄、八田吉子、淡野隆久、金川清弘、黒岩敦子、池尻英明、播戸日出生、中田栄、山西和美、田頭夏子、高木知子、青木昭、横山規江、野村康

計25名

2. 山岳古道調査

支部山行22-24 第14回山岳古道調査

「葛城修験の道」牛滝山第10経塚・和泉葛城山第9経塚・犬鳴山第8経塚

山西和美

7月23日(土) 曇後晴

南海岸和田駅からバスで牛滝山大威徳寺へ。山門のそばの苔むした大岩の上に不動明王、そこが第10番経塚である。沢音を聞きながら牛滝川に沿って歩き出す。七丁地蔵から二十一丁地蔵まで、赤い前垂れを付けたお地蔵様を見ながら、木の階段をゆっくり進むと林道に出る。「ギーギー」と鳴く鳥はカケスだと薦田さん。やがて和泉葛城山頂へ。2つの大きな石祠があり、紀州側が第9番経塚で内部に金剛童子が祭られているようだ。泉州側には葛城一言主神と八大龍王。

午後から日が差し、「車道は暑い」などと言っていると、見過ごしそうな「大タワ→」の表示が出てきた。ここから道なき道。先頭の黒田さんが立ち止まり「ここでいいかな」と思案顔。片方は大木が倒れ道をふさぎ、片方は奈落の底へと思える急勾配。このような時に神のように現れるのが重廣さん。「ちょっと待って」と周りを見渡して「ここだよ」と。倒木をまたぎ、石にかじりつき、ようやく大天井ヶ岳へたどり着く。そこから天狗魔王岳に立ち寄り、燈明ヶ岳第8番経塚に着く。

不動明王の眷属童子など多くの石仏が立つ急勾配を下り、犬鳴山七宝瀧寺にたどり着く。大きな不動明王が迎えてくれる。本日の修行が無事に終了したことに感謝し、犬鳴川の美しい溪流を横眼で眺めながら、足早にバス停を目指した。

【コースタイム】

牛滝山バス停9:20～大威徳寺9:40～和泉葛城山12:30～大タワ13:58～大天上ヶ岳14:30～天狗魔王岳15:23～第8番



和泉葛城山第9経塚にて 写真提供：永井 和

経塚15:58～七宝瀧寺16:49～犬鳴山バス停17:18

【参加者】

黒田記代、永井 和、新本政子、岩崎しのぶ、薦田佳一、
重廣恒夫、中川委記子、野村 康、深澤優子、山西和美
計10名

支部山行22-31 第15回山岳古道調査 「大峰前鬼古道1回目 小池ノ宿跡・牛抱坂・嫁越峠」

森澤義信

8月27日(土)曇 28日(日)晴 29日(月)晴後曇一時雨

8月27日から29日の3日間、前鬼古道調査を実施した。紙面の都合もあり今回は前鬼山古道の概要について述べることにする。

世界遺産となっている大峯奥駈道は奈良県の吉野山から和歌山県熊野本宮に至る100kmの修験道修行の道である。奥駈道の丁度中程、釈迦ヶ岳の麓の山中に前鬼の集落がある。5軒の宿坊（山伏）を中心に他に5軒ほどの農家が修行者の活動を支える山伏村で、縁起では修験道の開祖・役行者が1300年前にその弟子の5鬼（鬼助、鬼熊、鬼童、鬼上、鬼継）に前鬼山を守護させたことに始まるといわれている。しかし実際には想像も混じえてのことだが鎌倉時代初めに吉野あるいは熊野から奥駈道を通ってきた修験者がこの地を発見し定住したということのようである。以来、前鬼は往還としての奥駈道を通じて吉野熊野との往来が続いてきた。その後東側にある北山郷との間にも交流が始まり、人の流入と共に前鬼で必要とされる生活物資ももたらされるようになった。しかし北山川から前鬼に至る道は長い急坂を登らねばならず、水田耕作に必要とされた成牛は仔牛のうちに人が抱えて登るのが常だった。このためこの道は牛抱道と呼ばれていた。

西の十津川郷からは、前鬼が管理する行場に修行者や信者が参集するようになり、花瀬から奥駈道を越えて最短距離で結ぶ道も成立した。十津川の子女が前鬼に嫁いでくるようにもなった。奥駈道は女人禁制であったがこの峠だけは幅3尺だけ女人の通行が認められていたので嫁越峠の名がおこったのである。



28日牛抱峠にて 写真提供：永井 和

【コースタイム】

8月27日 小仲坊12:15～P1170 13:46～小池ノ宿跡
14:41～P1170 15:25～小仲坊16:33

28日 牛抱坂入口7:37～P903 10:05～大タワ谷源頭
入口11:10～牛抱峠12:21～ウリネ谷12:37～休場13:34～前
鬼林道14:20～小仲坊15:00

29日 小仲坊5:40～小池ノ宿跡7:28～小峠（1173m）8:12～
嫁越峠9:34～天狗山11:00～太古の辻12:05～両童子岩
13:26～小仲坊14:36

【参加者】

中久保忠伸、豊田哲也、永井 和、新本政子、岩崎しのぶ、
久保和恵、薦田佳一、野村康、深澤優子、播戸日出生、
森澤義信、横山規江、他5名(新宮山彦ぐる一ふ)

計17名

支部山行22-36 第16回山岳古道調査 「葛城修験の道」金剛山石寺跡第20経塚 中川委記子

9月17日(土)曇

石寺跡は、金剛葛城山系東麓の御所市に所在する。古代の葛城県にあたり、市内には『古事記』『日本書紀』『万葉集』記載の地名が多く残り、桑原・佐味（さび）・高宮の村主名の地名も現存している。『続日本紀』文武天皇3年（699）条には、修験の開祖、役小角の誕生地とあり、中世にひろく全国へ伝播した修験道の根本霊場とされた。周辺一帯には葛木水分神社・葛木坐一言神社をはじめ、



石寺跡第20 経塚にて 写真提供：永井 和

『延喜式』所載の社が17座もあることは全国的にも稀有である。

石寺跡は、金剛山の東南中腹にあり、堂舎は明治維新に廃絶したようだが、霊場縁起集『諸山縁起』にも記載があり、創建は平安時代に遡ると考えられる。同縁起には、本尊を薬師三尊、弥勒三尊、月動大聖と伝えている。法華経20品『常不軽菩薩品』を付する第20経塚とされ、不退転の信仰を説いている。

また、石寺は金剛山・転法輪寺七坊の一つで、『河内名所図会』には行者坊・石寺坊・朝原坊（『諸山縁起』には朝鼻寺）などの坊名が掲げられている。近隣には国史跡の高宮廃寺跡があり、村主名を冠しているなど地域との結びつきも感じることができる。

石寺跡一帯には葛城修験濫觴期から最盛期の景観跡が多く残り、山岳信仰の移り変わりを深く体感することができた。

【コースタイム】

西佐味9:33～大辯財天9:57～高宮廃寺跡10:36～石寺跡第20経塚11:29～伏見峠13:03～金剛山ロープウェイ前バス停13:51

【参加者】

永井和、野村康、新本政子、岩崎しのぶ、久保和恵、薦田佳一、中川委紀子、深沢優子、山内幸子、山西和美

計10名

支部山行22-37 第17回山岳古道調査 「大峰前鬼古道第2回目 花瀬・嫁越峠」

永井 和

9月21日(水)晴後曇

前鬼古道調査の第2回目は、十津川村花瀬から大峯奥駈道上の嫁越峠にいたる廃道が対象である。この辺り一帯の滝川上流域は宗教団体ほんみちの所有地であり、花

瀬には同教団の重要施設である修行場が存在する。そのため、入山にあたってはほんみち教団から許可を得る必要があった。不動滝駐車場で待機していたほんみち教団員に挨拶し、その先導により赤井谷とドウノ谷出合まで進んだ。教団員と別れたあと赤井谷左岸にテントを設営し、さらに徒渉してドウノ谷右岸尾根の偵察にかけた。すでに道はなくなっていたが、獣道の痕跡はあり、なんとか通行できるのではないかと感触を得て、その日はテントサイトに戻った。

22日(木)曇後雨

早朝に出発、嫁越峠をめざした。地形図に記された旧道は、一部にそれらしき形跡が見られたが、ほとんどの区間で道といえるものは残っていなかった。しかし、大峰を熟知する中久保さんの絶妙なルート取りにより、かすかな痕跡をたどって尾根の斜面をトラバースしていった。幸い斜面崩壊により通行不可能な箇所はなかったので、地形図の廃道の跡を大きくはずれることなく、トレースできた。途中から雨が降り出したが、10時前にはなんとか嫁越峠に到達できた。稜線は東側からの風雨が強く、記念写真をとった後、早々に退散した。下りは往路をそのまま戻ったが、雨で滑りやすくなっており登りよりも苦勞した。

23日(金)雨

雨は夜中降り続け、朝になっても止まなかった。計画では、23日には天竺山を経由して十津川村内原に下山する予定だったが、雨が強いので往路をそのまま引き返すことにした。

【コースタイム】

21日 不動滝駐車場11:50～吊り橋12:00～ほんみち修行所入口12:35～赤井谷・ドウノ谷出合テントサイト14:45～小コル15:43～テントサイト16:12

22日 テントサイト6:04～小コル6:55～嫁越峠10:08～小コル13:09～テントサイト14:00



22日嫁越峠にて 写真提供：永井 和

23日 テントサイト7:15～ほんみち修行所入口8:05～吊り橋8:32～不動滝駐車場8:40

【参加者】

中久保忠伸、豊田哲也、永井 和、薦田佳一、深澤優子
計5名

3. ヒマラヤ登山塾

第8回ヒマラヤ登山塾

「極地法とアルパインスタイルの山マシャブルム～ブロードピーク」

賀集 信

7月24日(日)

今回のヒマラヤ塾は、私にとって特に感慨深いものだった。というのもこの2峰の連続登攀の端緒を開いたのは自分だったし、また最終的にこの遠征隊の隊長を引き受けることになったからだ。

K2遠征途上で見上げたマシャブルム北稜は、美しさも困難度も超一級で、当初は自分達にはとても歯が立つ対象とは思えなかった。しかしそれへの憧憬は断ち難く、1980年の関西登高会の試登となる。そしてその敗退から臥薪嘗胆ともいえる5年の歳月を乗り越え、大阪府山岳連盟主催で隊員を公募し、登山許可も取得することが出来た。1984年にカンチェンジュンガ遠征に参加したことを契機に、重廣さんをはじめ強力な3名の隊員が加わり、翌年のこの遠征へと繋がった。

重廣さんとの出会いはK2遠征が最初で、その後JACのチョモランマ、カンチェンジュンガへと続くが、彼が全ての頂に立ったのに対し、私は力不足もあってどの登頂も叶わなかった。マシャブルム北稜では登攀隊長として、経験に基づく緻密なタクティクスを立案してくれた。隊を3つのパーティに分け、好天があまり続かない山にもかかわらず波状攻撃が出来たこと、頂上岩壁の弱点を一か所に拘泥せず見つけてくれたこと、そして必要十分ともいえる食料・装備を用意し、悪天・ルート of 困難さにもかかわらず最後まで粘り切れたことなどが、成功へ導いた成因と考えている。

ブロードピークの方は、ワンプッシュで頂上を落とすという最も厳密な意味でのアルパインスタイルを採り、幸運にも成功した。高度順化した後に8000m少々の山のノーマルルートなら、我々にも出来るはずという考えで、力試しのような側面もあった。

皆怖いもの知らずの若き日の、本当に真摯に山に対峙

していた頃の山登りだったと思う。

【参加者】

新本政子、池尻英明、魚津清和、岡田輝子、賀集 信、黒田記代、竹中雅幸、薦田佳一、辻 和雄、豊田哲也、中川委紀子、中村三佳、野村 康、深澤優子(以上関西支部)、中谷康司、前川晋也、松尾みどり(以上本部)、他4名
計21名

第9ヒマラヤ登山塾

「衛星生中継チョモランマ交差縦走」

辻 和雄

8月28日(日)

世界における8000m峰への初登頂が1964年のシシャパンマ(8027m)で完了し、日本人による8000m峰初登頂も、1985年のチョ・オユー(8201m)登頂により一先ず完了した後における、日本・中国・ネパール3国が共同して推進した国家レベルの登山事業の報告でした。チョモランマ(サガルマタ)交差縦走という世界初の試みと同時に、1988年5月5日のこどもの日に、チョモランマ(エベレスト)登頂をテレビで宇宙中継するという、前代未聞の画期的な偉業の報告でもあります。

交差縦走そのものは、成功裏に終了したわけですが、実現するまでの3国の思惑と、それを束ねた日本隊の苦勞、特にチベット側からのTV隊の登頂・衛星生中継もあり、実現は奇跡とも言える偉業でした。

1986年7月の3国による予備会談から始まり、各国隊員の登山観、価値観の違いを乗り越え、1988年5月5日の登頂成功に導きました。日本隊は今西壽雄総隊長、名誉総隊長は、自民党幹事長代理で後の総理大臣橋本龍太郎氏と日本山岳会及び国を挙げての事業でした。

私は、未だ日本山岳会への入会前で(2年後に入会)、ただ凄い事が実現するものだと感嘆した事を覚えています。

当事業の報告書は、今回の資料で頂きましたが、重廣さんの唯一の著書『エベレストから百名山へ』(光文社新書)にも、他の数々のヒマラヤ登山の足跡と共に記述されています。

これ程の大規模な登山隊の運営と推進は、当然大変な労力を要します。私は、関西支部の70周年記念海外登山及び80周年記念海外登山の二つの会計報告を担当しました。規模は全く違いますが、裏方である会計担当も膨大な費用支出の取り纏めに苦勞しました。裏方の作業も、大切な登山活動の一部と思っています。

【参加者】

池尻英明、魚津清和、小黒節郎、辻 和雄、中川委紀子、中村三佳、橋本圭之輔、松村文子、茂木完治（以上関西支部）、他6名 計15名

第10回ヒマラヤ登山塾

「日中国交回復20周年の山ナムチャバルワ」

片岡泰彦

9月23日(金)

コロナ禍の影響で、人との接触を避ける「ソロ」登山、またガイド登山や弾丸登山、安近短登山の言葉を耳にすることがある。今回のヒマラヤ登山塾はJACが3年に亘り登山活動を展開したナムチャバルワ(7782m)と聞いて、報道支援の役割で第一次隊に参加した小生と現在NHK名古屋局勤務の米山カメラマンと一緒に駆け付けた。

30年前、遠く重苦しく感じる山々があり、その中でもこの山は特別な遥か彼方の場所に存在していた。当時地球に残されていた最高標高の未踏峰、山容がピラミダルで尖った鋭峰、またそれが中国とインド国境近くのややこしい地域にあり入域できない場所にある。チベット高原を流れる大河のヤル・ツアンポーは西から東に流れるが、大屈曲点に吸収されると流れの下流はどの河となるのか分からない伝説を秘めた「ヒマラヤ謎の川」。右岸には、ナムチャバルワ、左岸にはギャラペリ(7151m)が立ちはだかる。色々な意味で1990年代になっても空白の地域と言われていた。1992年の登頂をキッカケに貴重な観光資源を利用し、地域開放する方向に進むのかと想像したが、以降入域した登山隊も聞かず、再び静かな山域に戻ったようだ。

入域や登山ルートを探る偵察隊の派遣が1990年。第一次隊登山隊、そして第二次登山隊が登頂することが出来たが、許可取得までに日中友好協会・日中友好議員連盟をはじめとする国家間の友好と政治の駆け引きと交渉があり、水面下での長いアプローチがあった。日中国交回復20周年記念を旗印に、日本山岳会という組織で取り組んだことが成功に繋がっており、調印式や記念セレモニーのスライドも多く映され、複雑な組織と関わった要人の紹介もあった。華やかな景色の裏にはそれに至る苦勞と忍耐が偲ばれ、個人単位では許可取得や山頂に到達できない山だったと改めて実感した。

許可取得活動及び偵察隊から登頂までの一連の流れを説明できる人は、配られた今回資料巻末の隊員動向をみると、重廣さん以外に存在しないようで、貴重な第10回ヒマラヤ塾に参加させていただいた。

【参加者】

新本政子、池尻英明、魚津清和、岡田輝子、賀集 信、中川委紀子、中島 隆、中村三佳、野村康、茂木完治、(以上関西支部)、中谷康司、松尾みどり(以上本部)、吉井修(首都圏)、片岡泰彦、米山悟(1991年参加者)、他1名 計16名

リーダー養成講習会報告

7月16日(土)

実技(屋内):「テーピングの基礎知識」、「足首関節捻挫用テーピングの基礎」

講師：重廣恒夫

－ご注意！－

【蓬萊峡エリアへのアプローチ】

土地所有者の方に迷惑を掛けないよう、下記のことにご注意してください。

- ①入口門扉は、毎回必ず閉める。
- ②入り口前の不法駐車をしない。
- ③ゲレンデへは直進せず河原を経由する。(ブルートレイン方面の通行禁止)

【山のトイレ】

阪神間の山麓にあるお寺で、参詣者のためのトイレをハイカーが汚し、汚物(尿取りパッド等)を捨ててトイレを詰まらせ、トイレトーパーを持て去るなどが続いたため、やむを得ずトイレを閉鎖するようなことが起きています。山のトイレはみんなのものです。お寺のみならず山小屋や公衆トイレでもていねいに使い、汚さぬように心掛けましょう。(支部長 茂木完治)

【参加者】

豊田哲也、中久保忠伸、小黒節郎、黒田記代、柴田美生子、茂木完治、久保和恵、永井 和、野村 康、前田正憲、松仲史郎、坂本明子、土井俊和、中村三佳、深澤優子、上森文子、鷺本晴香 計17名

8月7日(日)

実技：六甲山系城山(323m)南東稜北野谷側稜「セルフビレイの取り方」「ビレイの方法」「タイトロープによる安全確保」

【参加者】

豊田哲也、中久保忠伸、小黒節郎、柴田美生子、辻和雄、野村康、前田正憲、坂本明子、土井俊和、中村三佳、深澤優子、上森文子 計12名

9月3日(土)

座学：「長野県内の山岳遭難発生状況(週報及び令和4年1月1日～8月21日)」、「令和3年における山岳遭難の概況」、「登山中の事故における応急処置法」

【参加者】

豊田哲也、中久保忠伸、小黒節郎、辻 和雄、茂木完治、久保和恵、永井 和、野村 康、前田正憲、坂本明子、土井俊和、中村三佳、上森文子 計13名

4. 自然保護委員会活動報告

自然保護行事報告 池田市細川の自然観察

4月27日(水)

「自然観察会に参加して」

田頭夏子

阪急池田駅からバスに乗り、細川地域が見渡せる伏尾台の公園で講師の横田さんから説明を聞きました。細川は、昔は「池田炭」の産地でクヌギを多く植え、植木産業が盛んで、万博のころは多くの植木がここから売られたそうです。

当日はその余野川、細川地区を丁寧に案内してもらいました。近くに五月山西面が見渡せ、遠く甲山などが見える見晴らしのきく場所に移動して、観察会が始まりました。緑が美しい自然の中で、メジロ、ホオジロ、夏鳥のキビタキのなく声が聞こえ、余野川では腰の白いイワツバメが数羽元気に飛び回っていました。

植木地区に入ってゆくと、種々な植木が大きく伸びたまま放置されていました。小道の先の静かな池は、講師

の先生がテントを張り、泊まり込みで「イトトンボ」の観察をされたこともあるというところでした。肉眼では見えにくい「イトトンボ」が何匹も飛び回っているのを、双眼鏡で見せてもらい、きれいな姿、イトトンボの交尾がはっきり見えて感動しました。山道を一瞬横切った小動物がいましたが、講師はわずかな間にカメラに収められていて、驚いたことにアナグマでした。

キリの紫色の花は上に向かって咲いていくが、藤の花は下に咲く。アケビとよく似たムベの違い。クスノキは樟脳が採れる香木。シキミとサカキの違いなど、説明を受けながら歩き、今まで気にも留めなかった自然物に興味を持って、充実した一日でした。

【参加者】

斧田一陽、金井良碩、川久保美美子、久保和恵、河野直子、小林又七、薦田佳一、諏訪千絵、田頭夏子、松村文子、山内幸子、横山規江、会員外1名 講師：横田 靖 計14名

7～9月

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

◆日時：2022(令和4)年 7月7日(木) 9:30～14:30

気 象：晴

活動エリア：44林班は-02

活動内容：里山林保全

参加者：猪川 誠、石原順子、斧田一陽、小櫃徹夫、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田壽夫、中川義行、中村賢三、宮本 廣 (体験2) 計12名

◆日時：2022(令和4)年 7月 17日(日) 9:30～15:30

気 象：晴

活動エリア：東海自然歩道、小屋周辺(45林班に-01)、45林班に-03

活動内容(午前) 里山林保全、自然歩道の路肩補強、水切り掘り返し、周辺枯枝除去など
(午後) 令和4年度 本山寺山森林づくりの会 総会

参加者：猪川 誠、内海宏一(午前)、斧田一陽、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田壽夫、中川義行、中村賢三、春名浩一、宮本 廣、湊 亮、山田真也、兪 靖函、山本國夫 計14名

◆日時：2022(令和4)年 7月 24日(日) 9:30～15:30

気 象：晴

活動エリア：44林班ろ

活動内容：伐り倒し放置木や枯損木の処理、棚積み

参加者：猪川 誠、内海宏一、斧田一陽、倉谷邦雄、
工藤貴士、武田壽夫、春名浩一、中村賢三、湊 亮、
山本國夫 計10名

◆日時：2022(令和4)年 8月 11日(木) 9:30～15:30

気 象：晴

活動エリア：44林班ろ

活動内容：里山林保全

参加者：斧田一陽、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田壽夫、
当山清之、春名浩一、中川義行、中村俊夫、宮本 廣
計9名

◆日時：2022(令和4)年 9月 8日(木) 9:30～15:00

気 象：薄曇り

活動エリア：45林班に-03

活動内容：里山林保全、里道補修

参加者：石原順子、斧田一陽、倉谷邦雄、黒山泰弘、
武田壽夫、寺田昭弘、当山清之、中川義行、中村賢三
、中村俊夫、春名浩一、宮本 廣 計12名

◆日時：2022(令和4)年 9月 29日(木) 9:30～15:30

気 象：晴

活動エリア：44林班い

活動内容：路網整備

参加者：斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、
武田壽夫、寺田昭弘、当山清之、中川義行、中村賢三
、中村俊夫 計10名

7～9月

「東お多福山草原保全・再生研究会」参加保護活動報告

◆日時：2022(令和4)7月13日(水)

参加者：斧田一陽、田島聖子、桐村登美枝 計3名

◆日時：2022(令和4)9月28日(水)

参加者：斧田一陽、田島聖子 計2名

個人山行(2022年7月～9月)

安全委員会に提出された個人山行登山計画書

7月2日 六甲山 ロックガーデン地獄谷

7月5日 大峰 鉄山白子谷

7月11日 金剛山 高天谷右保

8月2～4日 御坂山地

8月3日 南紀 滝本北谷

8月10日 富士山

8月11日 金剛山 ツツジオ谷

8月13日 六甲山 ロックガーデン

8月14日 北摂 黒柄山

8月22～24日 南アルプス 鋸岳

9月1日 金剛山 ツツジオ谷

9月4日 京都北山 西下立山～天ヶ森

9月15日 京都北山 金毘羅山

9月17日 京都北山 金毘羅山

9月17～18日 奥美濃 竹屋谷、尾西谷

9月18～19日 奥飛騨 沢上谷、木地屋溪谷

9月19日 北摂 ポンポン山不動谷左保

9月22～24日 北ア 穂高岳

9月29日 北摂 ポンポン山不動谷

10月1～2日 若狭 ウツロ谷

！熱烈－新入会員歓迎山行－歓迎！

ここ2, 3年の間に入会された方は、交流を深めようではありませんか。新入会員でなくても歓迎します。くろんど園地で鍋やかまどをレンタルして鍋料理作りを楽しみましょう。

日 時：1月22日(日)京阪私市駅前に集合9:00(雨天中止)

コース：京阪私市駅～すいれん池～くろんど園地～獅子窟寺～河内森駅

申込み：1月15日(日)迄(担当：岡田輝子)

※これは22-68月例会(1月)として行うものです。

2023年度海外山行

マレーシア・ボルネオ島 キナバル山(4095m)

時 期：5月後半以降(参加希望者により決めます)

日 程：出国から帰国まで5日間

費 用：約30万円(諸費用を除く)

参加希望締切：1月31日(火)(時期決定のための締切)

申込先：水谷透 jacmztn@yahoo.co.jp

*詳細は次号に掲載します。

◎スケッチ同好会◎

【報告】

第50回 武田尾武庫川溪谷

日時：2022年9月12日(月)

参加者：岩崎しのぶ、浦上芳啓、岡田輝子、金井良碩、久保和恵、河野直子、薦田佳一、高木知子、田頭夏子、野村哲夫、播戸日出生、宮野章、横山規江 計13名



武田尾武庫川溪谷 野村哲夫画

【案内】

第52回

日時：2023年1月16日(月)

行先：天王寺公園・茶臼山

集合：JR天王寺駅中央コンコース公園口前、午前10時

申込：1月10日(火)までに岩崎しのぶまで

sinobu160930@gmail.com または 090-5365-8446

備考：雨天中止(参加者には前日に連絡)

【案内】

第53回

日時：2023年3月13日(月)

行先：鎌倉峡、百丈岩

集合：JR福知山線道場駅 午前10時

申込：3月6日(月)までに金井良碩まで

Kanai-y@w4.dion.ne.jp または 090-8206-9566

備考：雨天中止(参加者には前日に連絡)

2023年1～3月 山行委員会行事案内

※末尾に申込先を載せているので装備、地図など詳細は担当者に確認してください

22-65 第16回関西のアルプス踏査

「大阪アルプス」

期日：1月15日(日)

コース：天保山～帝塚山～聖天山～茶臼山 詳細は申込者に連絡

申込み：1月8日(日)迄(担当：重廣恒夫)

22-66 ゆるやか山行[里山探訪2]歴史と文化を訪ねて

「石切山(283.7m)・釣鐘山(205m)」

期日：1月19日(木) 阪急山本駅8:30集合

コース：阪急山本駅～最明寺滝～万願寺～石切山～釣鐘山～川西能勢口駅

申込み：1月11日(水)迄(担当：久保和恵)

22-67 第22回山岳古道調査葛城修験の道

「明神山・亀ノ瀬岩第28経塚」
 期 日：1月21日(土) 近鉄関屋駅9:15集合
 コース：近鉄関屋駅～関屋地蔵～明神山～大正橋～亀ノ瀬第28経塚～河内堅上駅
 申込み：1月11日(水)迄(担当：永井 和)

22-68 月例会(1月)新入会員歓迎会

「くろんど園地」
 期 日：1月22日(日)
 詳細はP.13をご覧ください

22-69 クライミング初級

「六甲・蓬莱峡」
 期 日：1月26日(木)阪急宝塚駅前タクシー乗り場
 8:30集合
 申込み：1月21日(土)迄(担当：江村俊也)

22-70 ファーストエイド講習会

「山でケガや病気になった時の応急処置」
 期 日：1月28日(土)14:00～16:00
 場 所：支部ルーム(地下鉄谷町線中崎町、梅田東ビル304号)
 申込み：1月20日(金)迄(担当：江村俊也)

22-71 第12回ヒマラヤ登山塾(講演会)

「世界初の挑戦 マカルー東稜」
 期 日：1月29日(日)15:00～17:00
 場 所：大阪梅田第2ビルB4(ロッジ大阪店地下)
 申込み：1月22日(日)迄(担当：重廣恒夫)

22-72 月例会(2月)50歳未満限定

「六甲ロックガーデン岩場巡り」
 期 日：2月4日(土)
 申込み(右のQRコードより)：1月27日(金)迄(担当：後藤健治)



22-73 雪稜シリーズ

「石鎚山」
 募集3名のみ(安全対策のため)
 期 日：2月4日(土)～5日(日)
 コース：ロープウェイ～成就(白石旅館泊)～弥山～成就～ロープウェイ
 申込み：1月4日(水)迄(担当：江村俊也)

22-74 救命講習会

「消防局による心肺蘇生術の訓練実施」募集20名
 期 日：2月5日(日)13:30～16:30、受付：13:00～
 場 所：セルロイド会館3F大会議室
 申込み：1月21日(土)迄(担当：茂木完治)

22-75 第23回山岳古道調査葛城修験の道

「旧草谷寺跡～高天岸野神社」
 期 日：2月11日(土) JR五条駅9:05集合
 コース：JR五條駅～旧草谷寺跡～高天岸野神社～久留野峠～金剛山ロープウェイ前バス停
 申込み：2月1日(水)迄(担当：永井 和)

22-76 第17回関西のアルプス踏査

「御津アルプス」
 期 日：2月12日(日)
 コース：稲富山～X山～Y山～Z山～嫦娥山～鳩が峰
 詳細は申込者に連絡
 申込み：2月5日(日)迄(担当：重廣恒夫)

22-77 支部スキーツアー

「ハチ北スキー場」
 期 日：2月13日(月)～14日(火)新大阪&三宮発バスツアー利用 日帰り参加も可能
 申込み：1月13日(金)、日帰りは2月6日(月)迄可(担当：小黒節郎)

22-78 ゆるやか山行[里山探訪2]歴史と文化を訪ねて

「生駒山(642m)」
 期 日：2月16日(木) 近鉄枚岡駅9:30集合
 コース：近鉄枚岡駅～梅林～摂河泉道～生駒山～経塚～宝山寺～表参道～近鉄生駒駅
 申込み：2月8日(水)迄(担当：久保和恵)

22-79 リーダー養成講習会

「冬山実技訓練」
 期 日：2月18日(土)
 コース：霊仙山 詳細は申込者に連絡
 申込み：2月12日迄(担当：重廣恒夫)

22-80 第13回ヒマラヤ登山塾(講演会)

「関西支部の山 ナンガマリⅡ峰」
 期 日：2月19日(日)15:00～17:00
 場 所：大阪梅田第2ビルB4(ロッジ大阪店地下)
 申込み：2月12日(日)迄(担当：重廣恒夫)

22-81 クライミング初級

「六甲・蓬莱峡」
 期 日：2月23日(木) 阪急宝塚駅前タクシー乗り場
 8:30集合
 申込み：2月18日(土)迄(担当：江村俊也)

22-82 六甲山を歩く

「黒岩尾根、この絶景を見ずして六甲を語るなかれ」
 期 日：3月4日(土) 新幹線新神戸駅1階東詰9:30集合
 コース：新神戸駅～市ヶ原～黒岩尾根～摩耶山～青谷～阪急王子公園駅

申込み：2月25日(土)迄(担当：松仲史朗)

22-83 道迷い講習会

「遭難学エキスパートによる地図とコンパスの実技講習」

期 日：3月11日(土) JR道場駅9:00集合

講 師：青山千彰(山岳遭難研究者)

必要品：プレートコンパス、鉛筆、A4用クリップボード、20cm以上の物差、(地図は用意します)

申込み：3月3日(金)迄(担当：茂木完治)

22-84 第18回関西のアルプス踏査

「おくの細道アルプス」

期 日：3月12日(日)

コース：高取山城址～ダンガメ山～高雄山～大雄山

詳細は申込者に連絡

申込み：3月5日(日)迄(担当：重廣恒夫)

22-85 第24回山岳古道調査 吉野道

「壺坂越」

期 日：3月18日(土) 近鉄壺阪山駅9:10集合

コース：近鉄壺阪山駅～壺阪寺～壺阪峠～夙峠～世尊寺～近鉄六田駅

申込み：3月8日(水)迄(担当：永井 和)

22-86 雪稜シリーズ

「信州 鉢盛山」募集3名(安全対策のため)

期 日：3月18日(土)～19日(日)

コース：野麦峠スキー場～小鉢盛山(泊)～鉢盛山～小鉢盛山～野麦峠スキー場

申込み：2月18日(土)迄(担当：江村俊也)

22-87 沢例会

「武庫川源流の谷を探る」

期 日：3月21日(火) JR南矢代駅8:32集合

コース：南矢代駅～龍蔵寺～沢登り～愛宕山～南矢代駅

申込み：3月14日(火)迄(担当：茂木完治)

22-88 クライミング初級

「六甲・蓬萊峡」

期 日：3月23日(木) 阪急宝塚駅前タクシー乗り場 8:30集合

申込み：3月18日(土)迄(担当：江村俊也)

22-89 月例会(3月)

「ご当地アルプス『摩耶アルプス』を歩く」

期 日：3月25日(土) 新幹線新神戸駅改札口8:30集合

コース：新神戸駅前～旧摩耶道～行者尾根～摩耶山～青谷道～阪急王子公園駅

申込み：3月17日(金)迄(担当：中村三佳)

22-90 第14回ヒマラヤ登山塾(講演会)

「第1回グレート・ヒマラヤ・トラバース」

期 日：3月26日(日)15:00～17:00

場 所：大阪梅田第2ビルB4(ロッジ大阪店地下)

申込み：3月19日(日)迄(担当：重廣恒夫)

22-91 ゆるやか山行[里山探訪2]歴史と文化を訪ねて

「沓掛山(414.7m)・みすぎ山(430.3m)」

期 日：3月30日(木) 阪急上桂駅9:00集合

コース：上桂駅～墓地～野鳥園～沓掛山～みすぎ山～JR馬堀駅

申込み：3月22日(水)迄(担当：久保和恵)

ステップアップ登山教室 一般募集

(会員・準会員・会友も参加可能)

申込先：豊田哲也 zat04126@nifty.com

受講料：1回1,500円

詳細は関西支部ホームページをご覧ください。

- ・初級(登山に必要な知識・技術・体力養成)
 - 1月7日(土) 杉生～竜ヶ尾山～亀岡
 - 2月23日(木) 京都北山・焼杉山～翠黛山
 - 3月21日(火) 生駒山系・おと越～十三峠
- ・中級(初歩の沢歩き、岩場の通過と登攀具の使用)
 - 1月9日(月) ポンポン山・空谷
 - 2月4日(土) 六甲・紅葉谷・白石谷滝巡り
 - 3月19日(日) 六甲・都賀川・木袋谷
- ・上級(積雪期登山)
 - 1月12日(木) 鈴鹿・綿向山
 - 2月12日(日) 比良・堂満第3ルンゼ
 - 3月4日(土) 比良・蓬萊山

2023年1～3月 自然保護行事案内

- | | |
|---|--|
| <p>1. 「日本山岳会関西支部 本山寺山の森」森づくり活動
(本山寺山森林づくりの会の活動)
活動日：1月3日(火)、15日(日)、22日(日)、2月2</p> | <p>日(木)、9日(木)、19日(日)、3月2日(木)、19日(日)
集 合：JR京都線高槻駅北 アルプラザ前 8時40分</p> |
|---|--|

●作業体験、森林観察、入会大歓迎です

2. 東おたふく山ススキ草原復元活動（東お多福山草原
保全・再生研究会活動）

活動日：1月7日(土)、2月22日(水)、3月18日(土)
集 合：JR神戸線芦屋駅南口 8時30分

3. 森林観察会

●本山寺山の森観察・体験参加・見学

期日・集合は本山寺山森林づくりの会活動日と同じ

●東お多福山観察会

期 日：1月26日(木)、2月18日(土)、3月23日(木)
集 合：東お多福山登山口バス停 9時

問い合わせ・申込み先

斧田一陽(全般)

☎/FAX072-633-6556、090-4037-4542

武田壽夫(本山寺山の森) ☎090-2042-9101

田島聖子(東おたふく山) ☎078-411-3837

締切：開催日の2週間前まで

山岳気象予報士 猪熊隆之氏の

「山の天気ライブ授業」受講者募集

山の天気のことなら、この人に聞け——。国内唯一の山岳気象専門会社ヤマテンの代表であり、同社が運営するサイト「山の天気予報」などを通じて、日々、山の天気の情報発信し続ける猪熊隆之氏を招き、山の天気を学ぶ講座を開催します。1日目は机上講座、2日目は生駒山で観天望気講座(山の天気ライブ授業)を実施します。ふるってご参加ください。

机上講義

開催日：2月25日(土) 開催場所：セルロイド会館301
会議室(地下鉄今里) 開催時間：13:30~17:30
(13:00受付開始)

定 員：30名

講義内容：気象遭難の種類・山と平地の天気の違い・
気象遭難を防ぐための天気図の活用・気象遭
難を防ぐための地図の活用など

用意する物：マーカーや色付きのボールペン

山の天気ライブ授業

開催日：2月26日(日)

集 合：生駒山上駅10:30

定 員：20名

山は雲を観察したり、学んだりする最高のフィールドです。山では、立体的に雲を捉えられるほか、稜線や尾根上では斜面を昇ってくる上昇気流によってできる雲を体感でき、山を挟んだ両側における雲のでき方の違いも観察できます。また、観天望気だけではなく、登山前日の天気図から押さえておくべきポイントや、荒れた天気の日、気象リスクを減らすために登山者がおこなうべきことの解説と、安全登山の方法について学びます。

講習内容：見える雲についての解説・地形による気象への影響・風が気象に与える影響・天気を悪化させる可能性のある雲があるかどうかなど

用意するもの：コンパス、日帰り登山装備

受講料：無料

申込先：茂木完治 E-mail：yib03510@nifty.com

TEL：080-3103-6770

(いずれも先着順で定員になり次第締め切らせていただきます)

講師紹介：猪熊隆之(日本山岳会会員、株式会社ヤマテン代表取締役)

1995年中央大学法学部卒業 2007年気象予報士の資格を取得、海洋気象の専門会社に就職、山岳気象のビジネスを始める。2011年株式会社ヤマテン設立。登山者向けに「ヤマテン山の天気予報」の配信。ヒマラヤなどの海外登山や取材活動の気象予報をサポート。

※『山の天気ライブ授業』は120周年記念事業の一つで、支部事業委員会の後援で実施されます。

申込み先一覧

江村俊也 tobi.osaka@me.com
岡田輝子 smiler8823teruko@true.ocn.ne.jp
小黒節郎 setsuro.oguro@nifty.com
後藤健治 https://forms.gle/4mRwVXwLC1cXYJbKA
久保和恵 unclertorys05-kazu@nifty.com
重廣恒夫 tsuneo.shigehiro@outlook.com
豊田哲也 zat04126@nifty.com
永井 和 nagai.kazu@gmail.com
中久保忠伸 qq8v9xu9tnnt@jcom.zaq.ne.jp
中村三佳 semii@nifty.com
松仲史朗 mgjgk966@ybb.ne.jp
茂木完治 yib03510@nifty.com
関西支部 kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp 申込

[山岳雑誌] 山と人、時代をつなぐ **岳人**

特別
編集

冬の山

発売中

★モンベルのウェブサイト、全国のモンベルストアや書店にて発売中!

▶ 年間購読がおすすめ

購読割引

送料無料

限定品プレゼント

通常価格
12冊

10,800円(税抜)
11,880円(税込)

年間購読
12冊

9,900円(税抜)
10,890円(税込)

1冊分
おトク!



価格:990円(税込)

年間購読のお申し込みはこちらから!▶▶

<https://www.gakujin.jp/>



全国の
モンベルストア
でも受付中!

お問い合わせ

モンベルポスト



0120-982-682 / TEL 06-6538-5797

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。



TRAIL CRAMPON PRO

- ①ラチェット式で簡単脱着!
- ②10本爪で高いグリップ力!
- ③ペアで667gの軽量アイゼン!

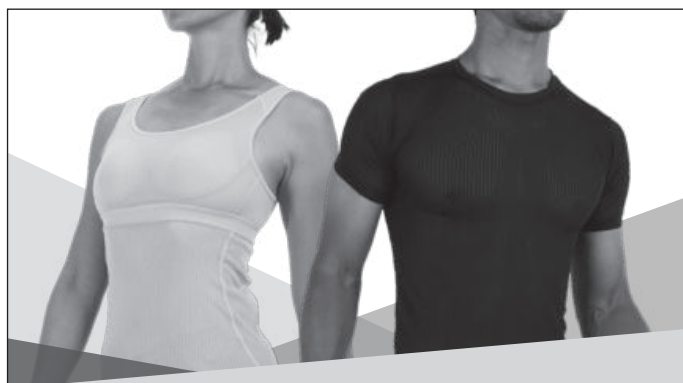


適合サイズ:25-30cm

※本商品は2,000m以下の堅雪でご使用下さい。

トレイル クランポンプロ 税込 ¥13,200

輸入元:(株)ケンコー社 TEL:06-6374-2788



この1枚が、登山を変える。

DRY LAYER®

finetrack®

ドライレイヤー 検索

〈編集後記〉

☆先日、五台山に行った折に、美和峠で4人組の女性グループが、木で行く手を塞いである踏み跡を辿ろうとしつつも、行くべきかどうか迷っている様子でした。どこへ行きたいのかと尋ねてみると、東側の市島町側に車を置き、鴨内峠経由で来たので、東側に下りたいと言います。で、地図はと問うとスマホを取り出し、西側からの登山記録を見ておられました。来た道を忠実に戻ってくださいとアドバイスしました。スマホアプリ全盛の時代、遭難予備軍の多いことを改めて実感した次第です。(加藤)

第190号 2022(令和4)年12月10日 発行

発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22

梅田東ビル 3階 304号室

公益社団法人 日本山岳会関西支部

e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

郵便振替口座 00930-6-55950

発行者 茂木完治

編集 加藤芳樹 坂田洋子 中村三佳

制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28



私たちは
人と自然をつなぐ道具を
提案します。

IWATANI-PRIMUS

イワタニ・プリムス株式会社

www.iwatani-primus.co.jp

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-12-20